

---

---

# 滝子山：笹子（ズミ沢ルート）～（檜平ルート）初狩

---

---

斉藤整紀

- 平成 27 年 9 月 22 日（祝）日帰り
- メンバー 松田福男（CL）・斉藤整紀
- コース

【笹子～滝子山～初狩： 歩行 14km  
標高差 1021m、標準歩程：6 時間 25 分】

高尾駅 8:01⇒8:58 笹子駅 9:10→10:  
15 道証地蔵→11:35 曲沢峠分岐→造林小  
屋跡→芝生尾根（昼食）12:15～35→滝  
子山 12:50～13:00→13:35 檜平→15:  
30 初狩駅 【所要：6 時間 20 分】

## 【はじめに】

アメリカの戦争に加担する法案を、憲法を曲げて通すアベ政治に憤りを感じる日々、憂さを晴らすべく、連休のさ中、松田さんの山行企画に乗せて頂いた。

9 月 22 日（火・祝）曇り時々晴れ

滝子山は松田さんとの 7 年前以来で、前回、造林小屋跡辺りで雨に遭ったのと比べたら、今回の方が天気恵まれた。

笹子駅から出発し、舗道から林道にかけての長いアプローチの後、林道終点のふんだんな水場で喉を潤した。右端の道証地蔵を右折し、ようやく山径に入る。

ズミ沢ルートは、変化に富んだ綺麗な沢沿いの登りが続く。尾根に逃げず、懐深く美溪を間近く眺めながらの登りは、半端な季節ながら、水量が豊富で、飽きることはない。「三丈の滝」に始まり、曲

沢峠分岐右手の「難路」の標識に沿って進むと、落差の大きな「もちガ滝」や一枚岩を潤す「ナメ滝」も見事である。

崩落のトラバース路に注意し、沢を離れ、造林小屋跡を過ぎると、気持ちの良い芝生の尾根が広がる。緩やかな登りを右に折れ、陽当りの良い切株に腰を下し昼食を摂った。大谷ガ丸方面の眺望が良い。時分時、山頂はあまり広くないことを勘案、山頂手前のここが昼食に好適か。

再出発後、程なく主稜尾根へと進み、鎮西ヶ池にある白縫神社に手を合わせてから山頂へと向かう。山頂は、時々日も差すが、富士山は望めない。しかし、狭いながらも賑わっている。秀麗富嶽 4 番の表記の他、1620m、1610m と 2 本標識が立っている。摩訶、不思議！

下山は、東へ延びる尾根を辿る「檜平」ルートで初狩駅方面へ向かう。いきなり急下降の連続。次に「女坂」の標識に従い、気持ちの良い下りのあと、檜平に出る。更に急な下降が続き、広い鞍部に至る。松林のジグザグ径を経て、平凡な沢沿いの径を下る。やがて藤沢川沿いに下降、藤沢集落に至り、山径を終えた。

この山はズミ沢ルートが綺麗で面白い。

久しぶりに松田さんと二人でしっかり歩き、いい汗をかいたが、いつものパターンで、国分寺駅前で十二分な補給をしてから帰宅することと相成った！！（了）